

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん
載っています

作成:NP0 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:

①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照

②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

一番長いルートを歩く (悦)

今回のルートは横河口から北コース→頂上→中央コース→東コース→横河口で、年間で一番長いルートになります。

観察のポイントは、下見の結果を踏まえメグスリノキの花、イヌザクラの花、ズミとエゾノコリンゴの花の比較、頂上でベニバナイチヤクソウ、ヒメハギ、フデリンドウ、そしてキバネツトトンボの予定でした。

しかし、この季節の1週間の進みは早く、メグスリノキ、ズミ、エゾノコリンゴの花は散ってしまい観察できませんでした。

頂上で、お昼で帰る方も一緒にキバネツトトンボが観察できましたので、5月限定のお楽しみがクリアできました。



健気に咲き続く花 (洋)

今年も頂上広場で、この季節の花に会うことができました。ヒメハギ① フデリンドウ② ベニバナイチヤクソウ③。ほぼ前年と同じくらいの咲き具合のように思えた。自然が作ってくれた優しい花の色を堪能できた。一方、目が覚めるようなキランソウ④の鮮やかな青色も脳裏に残ったままです。また、白い細かな花があちこちに咲いていた。タニキョウだと教えてもらった。ツボスミレも可愛らしく咲いていて、なごめました。③



ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《問合せ》 NP0 法人 ハヶ岳森林文化の会

☎: 0266- 75-1772

WEB ガイドを拡張しました。

観察会で長年撮りためた写真を利用して、スマホでも利用できる WEB ガイドを拡張しました。

①植物ガイド

②昆虫ガイド

③植物・昆虫を観察しよう

①②は植物・昆虫の名前、観察月で検索できます。

③はガイドブック2の「観て楽しむ」の章を掲載しています。



イヌザクラ (ワ)

「イヌザクラの花序枝には、葉がついていない」ということを検証するために、高い木の枝のイヌザクラの花を撮影しました。確かに花序枝には、葉がついていませんでした。



イヌザクラ (悦)

イヌザクラは市民の森では北コースに大木、南コースに細い数本を確認しています。

諏訪大社上社前宮の北西にある「峯の湛(みねのたたえ)」は諏訪七木(ひちぼく)の一つであり、茅野市指定天然記念物となっています。

茅野市の運動公園にも大木があります。

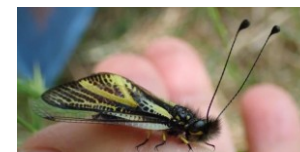
イヌザクラの花はウワミズザクラに似ていますが、ウワミズザクラには、花序枝に葉が付くことで区別出来ます。

花序枝の葉



5月観察した虫たち(馬)

- ウスバアゲハ②109
- オナガアゲハ♂②109
- クロアゲハ♂
- モンキチョウ②110
- ツマキチョウ♂②109
- スジグロシロチョウの仲間②110
- トラフシジミ②111
- ツバメシジミ②111
- コムシジミ②115
- ミドリヒョウモン幼虫②113
- クロヒカゲ②116
- キマダラヒカゲの仲間②116
- ヒメウラナミジャノメ②115
- コジャノメ②115
- ミヤマセセリ②117
- ニワハシヨウ②124
- ヨツボシトンボ♀
- シオヤトンボ♂♀②128
- エゾハルゼミ②129
- キバネツトトンボ②135



g

5月観察した花 (悦)

- ✿ ミツバツチグサ①71
- ✿ ヘビイチゴ①72
- ✿ メグスリノキ
- ✿ ネコノメソウ①73
- ✿ ズミ②71
- ✿ マルバアオダモ②73
- ✿ タニギョウ①68
- ✿ チゴユリ②72
- ✿ ウワミズザクラ①70
- ✿ イヌザクラ
- ✿ モミジイチゴ①72
- ✿ ヒトリシズカ①73
- ✿ フタリシズカ①83
- ✿ ミヤマウグイスカグラ①67
- ✿ ヤマツツジ①79
- ✿ レンゲツツジ①78
- ✿ ヒナスミレ②70
- ✿ カキドオシ①75
- ✿ クサボケ①71
- ✿ アケビ②72
- ✿ タチツボスミレ①77
- ✿ アカネスミレ②70

春！ (黒)

いろんな色合いの緑が、長い冬から抜け出した喜びを一気に発散しているような春、とうか初夏の森の雰囲気。空気も、緑色に染まっているような気持ちのいい市民の森を満喫しました。

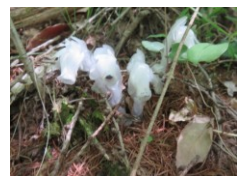
●初めてヒゴクサの実物を見ました。

ほんとにかわいい姿です。カヤツリグサ科の花で、余り見向きもされないのですが、個人的に大好きな花です。



●次に、目に留まったのは、ギンリョウソウ。

もうすぐ、ぎよりの目玉が飛び出しそうな、何となく、妖艶な幽霊の感じ。透き通るような白い色が美しい花。



●キランソウ。

ムラサキの花が地面にくっつくように這いつくばって咲いていました。うっかり見落としてしまいましたが、よく見ると、なかなかかわいい花です。



●エゾハルゼミ。

もう命の限りに歌い終えたのでしょうか。触っても、あまり動かず、じっと止まっていたのが目にとまりました。



命は短い、恋せよ乙女！(誰に言ってる?)
その他、いろんな蝶が飛び交っていて、頭の容量が小さいせいで、なかなか名前が覚えられませんが、自然の作り出す美しさに目を見張ります。

カワイイ顔のヤママユ2齢幼虫か？ (矢)

何を一生懸命観察しているのでしょうか？

どうもヤママユの2齢幼虫らしい。

蛾も齢級によって姿形が異なります。

昨年7月に観察した4齢はなんか大人っぽい！



2齢幼虫



昨年7月に観察した4齢幼虫

シマヘビとマムシグサ (矢)



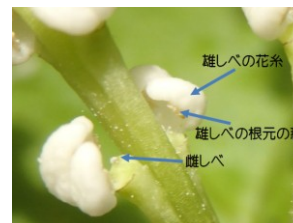
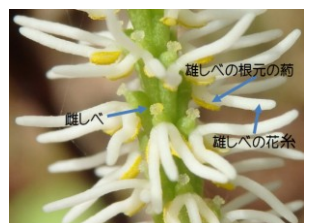
「きゃー！」という叫び声の向こうに、1m 越えのシマヘビが。それに負けじとマムシグサ！

どちらも緻密な模様の織物のようで、何故こうなるのか興味深いです。

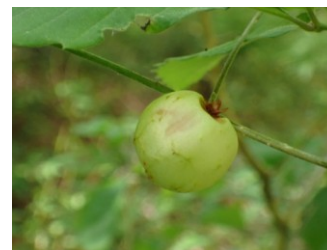


ヒトリシズカとフタリシズカ (悦)

2種の花の構造を見てみましょう。



リンゴのような虫こぶ (桂)



ミズナラに、まるでリンゴのような虫こぶがついていました。「ナラメリンゴフシ？」なんて覚えられないよ～と思っていましたが、「植物名+植物の形成部位+虫こぶの形状+ふし(虫こぶの別名)」となっていることを知りました。つまり「ナラの芽に出来たリンゴのようなフシ(虫こぶ)」と言う事でメチャ納得しました。そして、この虫こぶの中には「ナラメリンゴタマバチ」の幼虫が入っています。ネットで調べてみたら、夏には雄雌とも成虫になって羽化し、雌はナラの根に産卵し「ナラネタマフシ」に変身するそうです。そして冬に成虫になるのですが、羽のない雌ばかりで雄はいないそうです。雌はナラの樹に登って行き、冬芽に産卵するそうです。本当に驚きました！不思議なサイクルで生き延びているのですね。今度は冬芽に産卵している姿を見てみたいです！

あちらこちらにいます (口)

ヤマツツジの葉に小さなジンガサハムシ(6mm) 背中の中X状の黄紋があるセモンジンガサハムシ。



ナラの葉にイガイガのイモムシが2匹。どこかで見た顔これはヤママユガの面構え、全長23.5 mmこれからたくさん食べてまだまだ大きくなります。



ミドリヒョウモン
幼虫の食性はスミレ科のはず？

ヨツボシトンボは翅の付け根に特徴があります

